



ハンス J.ウェグナーは1954年、PP530 Tub Chairをデザインしました。デザイン当時この椅子を生産していたのはヨハネスハンセン社でしたが、彼の生前には技術的に商品化するのが非常に困難であり、大量生産されませんでした。そしてこの度、近年の技術の向上に伴い、現在ウェグナーのデザインを引き継いでいるPPモブラーから復刻することとなりました。

1950年代のデザインにも関わらず、決して古さを感じさせないモダンなデザイン。ウェグナーはいつも新しい試みに挑戦してきました。このチェアにおいてその挑戦とは、合板の造形、天然素材である木材、ステンレス、そして張りぐるみの全ての融合とバランスでした。ウェグナーは見事にそれをTub Chairという形で表現しました。異素材の組み合わせがチェアの美しさを更に際立たせています。このチェアは、ウェグナーの数あるデザインの中なかでも、最も製作の難易度が高いシェルチェアと言えるでしょう。

クッションの中身はベアチェアなどと同様、椰子の葉や綿、馬の毛などの天然素材を使用しています。ステンレスのバーは可動式で、背もたれは3段階で調整することができます。上部は読書に、中部は通常の使用に、下部に合わせればリラックスした体勢で腰掛けることができます。

【PP530 Tub Chair】 1954年
デザイン：ハンス・J.ウェグナー
樹種：オーク/ アッシュ
仕上げ：ソープ仕上げ
価格：1,065,000円（税別）より